

株式会社アズジェント

2019年3月期決算説明資料

2019年5月22日

目 次

2019年3月期 業績概要

3 ~ 7

2020年3月期 業績見通し

8 ~ 10

2020年3月期 事業方針

11 ~ 17

2019年3月期 業績概要

2019年3月期 損益計算書 ハイライト

- 前年同期比 -

単位: 百万円

	2018年3月期	2019年3月期
売上高	3,513	3,024
前期比増減(%)	△27.4%	△13.9%
営業利益	△72	△174
前期比増減(%)	－%	－%
経常利益	△76	△122
前期比増減(%)	－%	－%
当期純利益	△86	△121
前期比増減(%)	－%	－%
1株当たり当期純利益(円)	△22.63円	△31.85円

※ 発行済み株式数: 3,815,734株(2019年3月期)

2019年3月 貸借対照表 ハイライト

- 前年同期比較 -

単位: 百万円

	2018年3月期	構成比	2019年3月期	構成比	増 減	前年同期 増減比
流動資産 合計	1,754	74.4%	1,725	76.2%	△29	△1.6%
現金及び預金	882	37.4%	905	40.0%	23	2.6%
売掛金	694	29.4%	705	31.1%	11	1.5%
固定資産 合計	602	25.5%	535	23.6%	△67	△11.1%
資 産 合計	2,356	100.0%	2,261	100.0%	△95	△4.0%
流動負債 合計	627	26.6%	651	28.7%	24	3.8%
固定負債 合計	101	4.2%	109	4.8%	8	7.9%
純 資 産 合計	1,627	69.0%	1,500	66.3%	△127	△7.8%
総 資 産 合計	2,356	100.0%	2,261	100.0%	△95	△4.0%

(財務指標)

流動比率: 264.7%

自己資本比率: 66.3%

2019年3月期 キャッシュフロー計算書 ハイライト

－ 前年同期比較 －

単位:百万円

		2018年3月期	2019年3月期
営業キャッシュ・フロー	税引前当期純利益	△78	△120
	売上債権の増減（△は増加）	641	△10
	仕入債務の増減（△は減少）	△116	△8
	その他	△144	186
合計		302	46
投資キャッシュ・フロー		△186	△13
財務キャッシュ・フロー		△19	△9
現金及び現金同等物の増減額		97	23
現金及び現金同等物期首残高		785	882
現金及び現金同等物の期末残高		882	905

2019年3月期 業績ポイント

✓ サービス事業が損益分岐点を超え、収益事業に転換

- 新旧システムの並行稼働による運用コストの二重負担解消
- 顧客数の確実な増加による売上増

✓ 投資育成事業の収益化

- 投資育成事業を展開するためのテストケースとして当社が出資を行っているインキュベーターの出資先の買収が決定したことにより、当社への配当として出資額の5.5倍の運用益を計上
(その他出資先についても高バリエーションとなっている)

✓ 公共セクター等大型案件が次期以降にずれ組む

✓ プロダクト関連が想定より下振れ

- 過去に販売したセキュリティ機器のリプレイスが想定を下回る
- 新商品の立ち上がりが遅れる

2020年3月期 業績見通し

2020年3月期 方針

中長期的な成長基盤を確実なものとするため、次に掲げる方針を実行します。

- ①**最新の市場動向調査に基づいたユニーク且つオンリーワン商品の投入**
- ②**オンリーワン商品と当社セキュリティ・ノウハウを組み合わせたハイブリッド型サービスビジネスの加速**
- ③**これまで培ってきたイスラエルとのコネクションを活かした投資育成事業を展開**

その上で、中期経営計画の実現に向けた、経営基盤の強化を推進します。

2020年3月期 業績見通しのポイント

<セキュリティプロダクツ事業>

販売伸長見込み

- ✓ 前期からずれ込んだ大型案件がどこまで取り込めるか

<セキュリティサービス事業>

大幅な収益貢献見込み

- ✓ 体制強化と高収益事業への構造転換が完了し、損益分岐点超え
- ✓ スtockビジネスの為、損益分岐点を超えればstock増加分が収益増加に繋がる

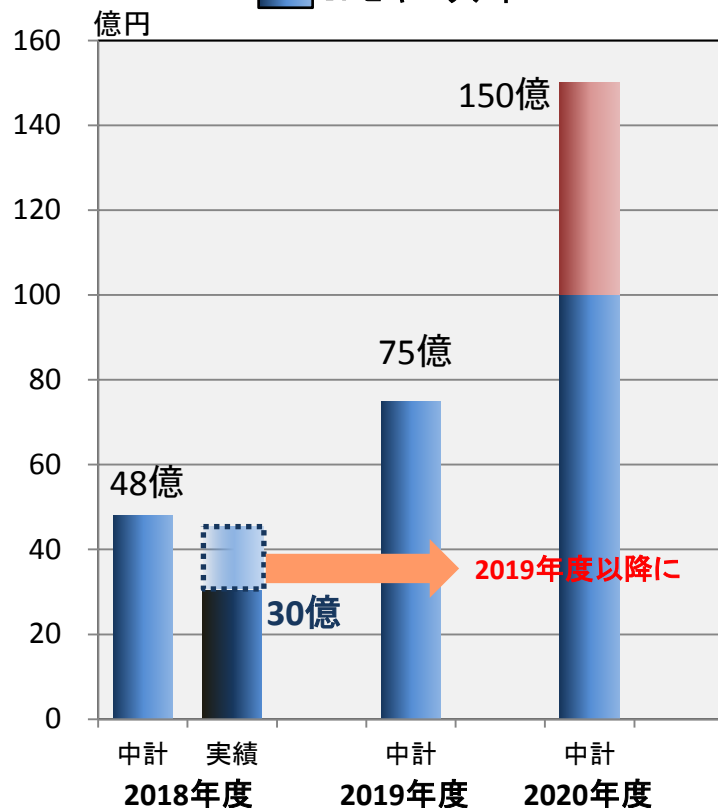
一方、厚労省をはじめとした公共セクターにおける大型案件が遅れており、現時点における1年後の業績予想を合理的に行う事が困難と判断し、業績予想を未定としております。

2020年3月期 事業方針

中期経営計画進捗状況

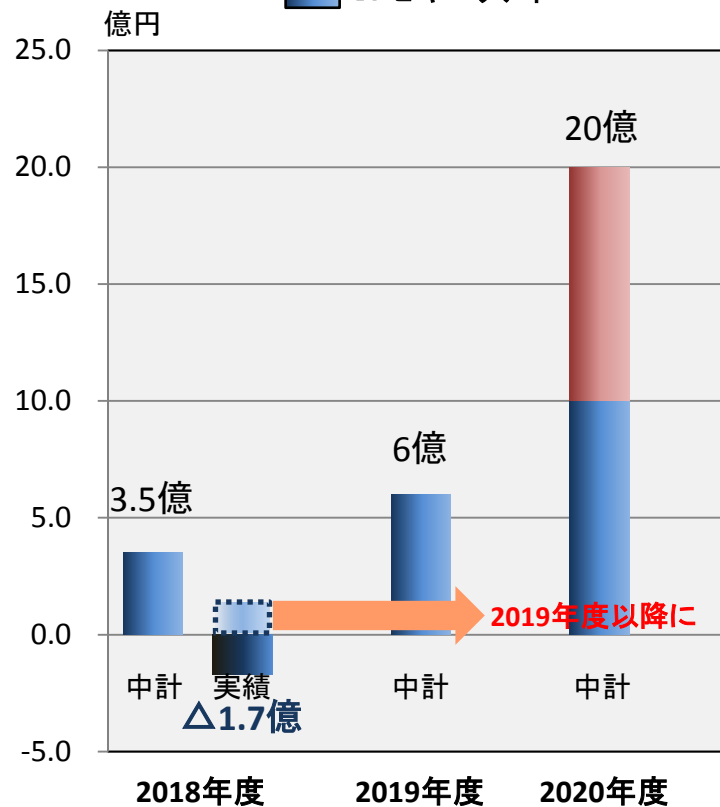
売上

■ コネクテッドカーセキュリティ
■ ITセキュリティ



営業利益

■ コネクテッドカーセキュリティ
■ ITセキュリティ



中期経営計画達成のためのポイント

一部遅れが生じているが、リカバリ策を推進中

ITセキュリティ事業



- ・セキュリティサービス事業の黒転による黒字拡大
- ・政府系大型入札の獲得
- ・オンリーワン商品とサービス事業の相乗効果

✓実現

✓準備完了も発注が大幅に遅れる

✓想定より遅れる

2020東京五輪



- ・圧倒的な商品力
- ・先を読んだ品揃え
- ・デファクトを取る戦略と実行

✓順調

✓順調

✓実用化が遅れ気味

コネクテッドカーセキュリティ事業

- ・投資育成事業の推進
- ・インフラ事業の準備開始

仕込中

仕込中

新規事業

ITセキュリティ事業のポイント

プロダクトとサービスのハイブリッド型による相乗効果の推進

販売したプロダクト
の運用を実施



セキュリティ
サービス
(SOC※¹)事業

2018年度Q4より黒字化転換

新システムへの移行完了し、収益力改善

メニュー拡張による機会増大

ストックビジネスとして収益基盤強化

※1 Security Operation Center/監視

厚労省他の大型案件の取込

VOTIRO & Web Isolation 自治体拡販

SaaSモデルの推進 (DI、IRONSCALES)

イスラエル新商品投入

セキュリティ
プロダクト事業



サービスとの相乗効果

コネクテッドカーセキュリティ事業のポイント

巨大マーケットの胎動

2020年を目途に高度な自動運転車が市場投入

高度で多様なセキュリティ要求

インカー(In-Car)セキュリティ

ECU、CAN-BUS等、車両側のセキュリティ



スマートキーセキュリティ

スマートフォン利用機能のアプリセキュリティ



ネットワークSOCセキュリティ

上記セキュリティ機能を監視するネットワーク及びSOCセキュリティ



他社に先行する商品MIXと弊社ポジショニング



- ・賞を総なめしている有カソリューション
- ・弊社は、日本で唯一のディストリビュータ
- ・資本参加、Executiveレベルでの人脈



- ・米国国防総省系アプリケーションセキュリティ
- ・弊社は、日本で唯一のディストリビュータ
- ・Executiveレベルでの人脈



- ・唯一のコネクテッドカー専用SOCソリューション
- ・弊社は、日本で唯一のディストリビュータ
- ・Fund経由資本参加、Executiveレベルでの人脈

つまり...

有力商品による、圧倒的な質と品揃え

勝負は...

米国、ドイツ、日本でデファクトとなるか

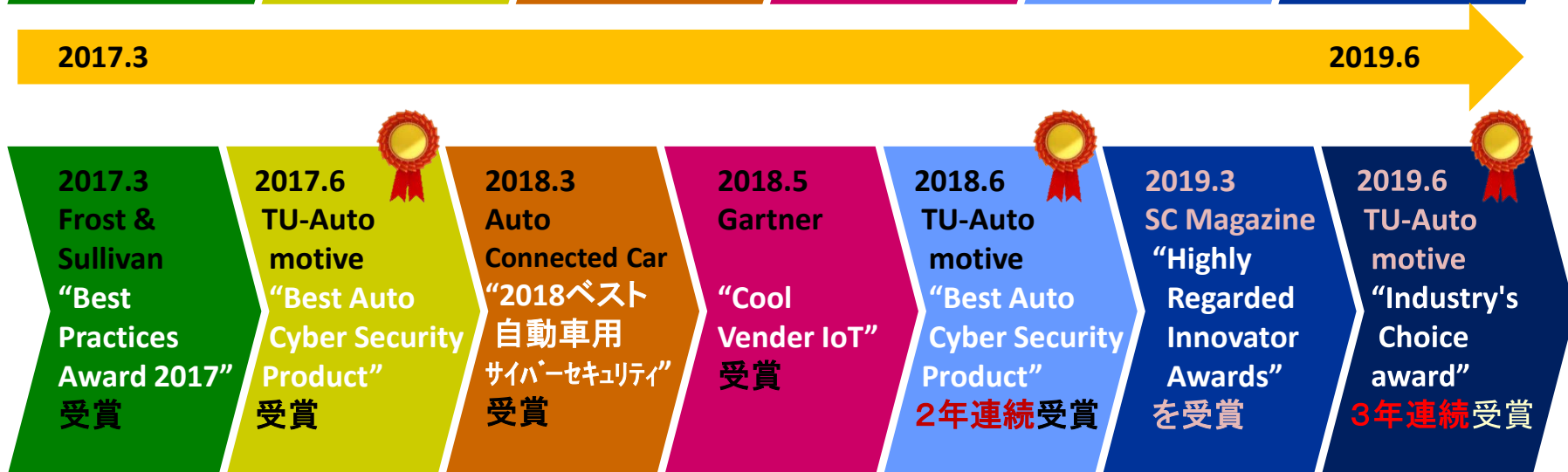
コネクテッドカー関連のランドマーク

Karamba Securityの受賞、及び発表のまとめ

アライアンス歴



受賞歴



投資育成事業の立上げ準備

世界的に注目の集まるイスラエルのセキュリティスタートアップへの投資



**Karamba
Security**

In-Carセキュリティで、数々の受賞歴を誇る。
有力イスラエルスタートアップ。
アズジェントは2%程の株式を保有。



イスラエルのUnit8200部隊の元コマンダー
が運営するVC+インキュベータ。
アズジェントの投資(ラウンドA)は、投資先
の一部の買収が決定したことで、**投資額の
5.5倍の配当を運用益として計上**。また、**配
当後でも3.2倍**(ラウンドB)程度の評価



2013-2015 VCパフォーマンスで**IRR 89.8%**
と世界トップクラス(source: Preqin Data)の
セキュリティファンド。アズジェントは、Value
added Partnerとして投資



2017.10にイスラエルのIn-Car
セキュリティのベンチャー企業
Argus Cyber Security社(当時
実質売上“0”)が、ドイツの
Continental AG(Tier 1)社に、
U.S.\$300M~400Mで買収され
ました。

Source: HAARETZ(イスラエルの
有力新聞の1つ)、他による

長年培ってきたイスラエルとのコネクションを活かし、
セキュリティスタートアップ企業への投資育成事業を展開する準備を進めると共に、
日本のセキュリティ技術向上にも寄与する。

